

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア

コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 北角浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,183	70.1	222	—	208	—	122	—
23年3月期第2四半期	695	△28.4	10	△74.8	△0	—	△38	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 83百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △75百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5,794.84	5,700.34
23年3月期第2四半期	△1,851.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,160	1,040	48.2
23年3月期	1,768	960	54.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,040百万円 23年3月期 960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	200.00	200.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,248	3.2	107	△66.0	97	△68.1	59	△74.0	2,838.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	21,375 株	23年3月期	21,364 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	290 株	23年3月期	290 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	21,083 株	23年3月期2Q	20,946 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による生産活動や個人消費の落ち込みから回復しつつあるものの、海外経済の減速と急激な円高進行、株価下落など景気の先行きに不透明感が見られます。当社グループが属するゲーム業界におきましては、PlayStation Vitaの発売を控え、新しいハードウェアへの期待が高まる一方で、消費者の低価格志向及び購買基準の厳格化により厳しい環境が続いております。

コンシューマゲーム業界におきましては、当年9月に開催された「東京ゲームショウ2011」に過去最高（約22万人）の来場者が訪れたことから、新しいハードウェア及びソフトウェアへの期待度の高さがうかがわれております。

モバイルゲーム業界では、スマートフォン（高性能携帯電話）への買い替えは依然として活発に行われており、スマートフォン市場は益々拡大しております。反面、参入企業の増加で競争は激化しており、より質の高いゲームをタイムリーに投入することが一層重要になっております。

アミューズメント業界では、東日本大震災及び計画停電の影響からは回復しつつあるものの、業界全体の集客率に回復は見られず、依然として低調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、パッケージ事業では市場の変化に対応すべく、PlayStation Vita、ニンテンドー3DSといった新ハードへのタイトルの投入及び準備を進めてまいりました。また、関連商品につきましては、コミックマーケットをはじめとした国内外のイベントに参加し、認知度の向上を図ってまいりました。オンライン事業では、Android OS搭載端末のスマートフォンに向けたゲームアプリの配信を行うとともに、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツの配信も行いました。ライセンス事業では、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信、ライセンスアウトという新たな試みを展開いたしました。その他事業では、ゲームセンターと喫茶店を融合させた『えきまえひろば』の運営及び、他社からの受託開発を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,183,647千円（前年同期比70.1%増）、営業利益222,584千円（前年同期比2,064.5%増）、経常利益208,873千円（前年同四半期は864千円の経常損失）、四半期純利益122,170千円（前年同四半期は38,775千円の四半期純損失）となりました。

当社は、本年4月1日より今後の成長戦略として、新たな経営理念「Entertainment for All」を掲げ、幅広いメディア、幅広いジャンルを通じた当社価値の提供の実現に向け、取り組んでおります。

報告セグメントにつきましても、今後の成長戦略に則ったマネジメント・アプローチにより、報告セグメントの変更について検討した結果、新たな報告セグメントを決定し、第1四半期連結会計期間より、新たな報告セグメントであるパッケージ事業、オンライン事業、ライセンス事業、その他事業の区分により業績を公表いたしております。

セグメント別の業績は、以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外合わせ全6タイトルの発売を行いました。

国内市場においては、『魔界戦記ディスガイア2 PORTABLE PSP the Best』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『ビックリマン漢熟霸王 三位動乱戦創紀』（ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）の2タイトルを発売し、ブランド力の強化や新規顧客の獲得等を図りました。また、第3四半期連結会計期間に発売を予定しております『魔界戦記ディスガイア4 フーカ&デスコ編はじめました』（PlayStation 3専用ゲームソフト）、『魔界戦記ディスガイア3 Return』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）等について、雑誌やWebサイト、イベントを中心にプロモーション活動を行い、商品の認知度を向上させるための広報施策に注力してまいりました。

海外市場においては、『Bleach: Soul Resurreccion』（邦題：『BLEACH SOUL IGNITION』、PlayStation 3専用ゲームソフト）、『Disgaea4: A Promise Unforgotten』（邦題：『魔界戦記ディスガイア4』、PlayStation 3専用ゲームソフト）等の4タイトルを発売いたしました。中でも『Disgaea4: A Promise Unforgotten』につきましては、当社が海外で発売したタイトルの中で過去最高の評価をいただきました。

また、当社の新作タイトルに合わせたグッズの製作・販売につきましては、当社ホームページでの通信販売サイトの運営をはじめ、「コミックマーケット80」「Anime Expo 2011」といった国内外の大型イベントに出展することで、新規顧客の獲得と既存顧客の満足度の向上や知名度の向上に努めました。

その結果、当事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高901,295千円、営業利益144,743千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、PlayStation Networkへの不正アクセスによる障害が当年7月に復旧いたしました。それに伴い『魔界戦記ディスガイア4』等のダウンロードコンテンツの配信を再開し、復旧後は非常に好調に推移いたしました。また、Android OS搭載端末のスマートフォンに向けたゲームアプリ『無限魔界ディスガイア』の配信を

行いました。今後も、成長を続けるスマートフォン市場に向けて、国内外で意欲的にコンテンツの提供を行ってまいります。

その結果、当事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高130,390千円、営業利益103,249千円となりました。

（ライセンス事業）

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業としてGREE向けソーシャルゲーム『ビックリマン』を開発・配信し新規ユーザー層の獲得を図ることができました。また、アイディアファクトリー株式会社より発売中の『超次元ゲーム ネプテューヌmk2』におきまして、当社をモチーフとしたキャラクター「日本一ちゃん」関連のロイヤリティ収入が発生しております。

その結果、当事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高79,156千円、営業利益75,056千円となりました。

（その他事業）

その他事業におきましては、アミューズメント施設の運営の他、当社が受託開発を行いました『うたの☆プリンスさまっ♪Repeat』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）が当年8月に株式会社プロコリーから発売され、7月から放送されたTVアニメ『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVE1000%』の好評を受け、販売本数も急増し、お客様から高い評価をいただき好調に推移いたしております。

その結果、当事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高72,805千円、営業利益11,702千円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,160,955千円となり、前連結会計年度末に比べ392,220千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末に比べ112,591千円の減少）、受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末に比べ、371,644千円の増加）、商品及び製品の増加（前連結会計年度末に比べ、77,010千円の増加）、仕掛品の増加（前連結会計年度末に比べ、53,943千円の増加）等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の減少（前連結会計年度末に比べ18,239千円の減少）等によるものであります。

（負債の部）

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,120,171千円となり、前連結会計年度末に比べ312,095千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加（前連結会計年度末に比べ62,029千円の増加）、短期借入金の増加（前連結会計年度末に比べ180,000千円の増加）、未払法人税等の増加（前連結会計年度末に比べ60,742千円の増加）等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少（前連結会計年度末に比べ17,503千円の減少）等によるものであります。

（純資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,040,784千円となり、前連結会計年度末に比べ80,125千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、四半期純利益122,170千円による増加等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は374,659千円となり、前連結会計年度末に比べ112,591千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は237,451千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益192,932千円、売上債権の増加額398,801千円、たな卸資産の増加額132,001千円、仕入債務の増加額71,330千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は20,766千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,331千円、投資有価証券の取得による支出30,160千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は156,166千円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額180,000千円、長期借入金の返済による支出20,004千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績見通しにつきましては、当期第2四半期累計期間の業績は当初業績予想に比べ順調に推移しておりますが、当期第3四半期に発売を予定している『魔界戦記ディスガイア3 Return』などの商品の販売動向は、いまだ不確定な要素を含んでおります。従いまして、現段階においては、平成23年5月13日に公表いたしました通期業績予想は変更しておりません。今後の受注状況や、その他の発売予定タイトルの開発状況等を勘案し、通期業績について修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

業績予想に関する留意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料公表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は業績予想と大きく異なる可能性があることをご承知おください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	487,251	374,659
受取手形及び売掛金	292,912	664,557
商品及び製品	20,128	97,138
仕掛品	72,896	126,839
繰延税金資産	14,301	13,183
その他	65,179	101,923
流動資産合計	952,670	1,378,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	373,709	363,694
機械装置及び運搬具（純額）	1,732	1,250
土地	172,746	172,746
その他（純額）	36,420	32,665
有形固定資産合計	584,609	570,355
無形固定資産	16,456	13,533
投資その他の資産		
投資有価証券	191,534	173,295
その他	23,463	25,468
投資その他の資産合計	214,998	198,764
固定資産合計	816,064	782,653
資産合計	1,768,734	2,160,955

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,420	142,450
短期借入金	279,600	459,600
1年内返済予定の長期借入金	39,175	36,674
未払金	63,998	88,273
未払法人税等	11,698	72,441
賞与引当金	18,305	29,261
売上値引引当金	70,408	73,833
その他	53,508	43,899
流動負債合計	617,114	946,432
固定負債		
長期借入金	183,249	165,746
退職給付引当金	7,092	7,871
その他	620	120
固定負債合計	190,961	173,738
負債合計	808,076	1,120,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,870	244,062
資本剰余金	233,870	234,062
利益剰余金	593,815	711,771
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	1,054,684	1,173,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,126	△13,480
為替換算調整勘定	△88,899	△118,760
その他の包括利益累計額合計	△94,025	△132,241
純資産合計	960,658	1,040,784
負債純資産合計	1,768,734	2,160,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	695,983	1,183,647
売上原価	314,208	539,499
売上総利益	381,774	644,148
販売費及び一般管理費	371,490	421,564
営業利益	10,283	222,584
営業外収益		
受取利息	1,108	2,142
受取配当金	1,716	727
その他	2,547	1,286
営業外収益合計	5,372	4,156
営業外費用		
支払利息	4,389	3,233
為替差損	11,797	12,275
その他	333	2,357
営業外費用合計	16,520	17,866
経常利益又は経常損失(△)	△864	208,873
特別利益		
固定資産売却益	—	4
債務免除益	3,990	—
特別利益合計	3,990	4
特別損失		
投資有価証券評価損	—	15,946
開発中止損失	21,122	—
特別損失合計	21,122	15,946
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17,997	192,932
法人税等	20,777	70,761
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△38,775	122,170
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,775	122,170

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△38,775	122,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,350	△8,354
為替換算調整勘定	△32,692	△29,860
その他の包括利益合計	△37,042	△38,215
四半期包括利益	△75,818	83,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△75,818	83,955
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17,997	192,932
減価償却費	25,933	21,512
のれん償却額	4,834	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,672	11,473
売上値引引当金の増減額(△は減少)	△3,115	9,287
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,002	779
受取利息及び受取配当金	△2,824	△2,870
支払利息	4,389	3,233
為替差損益(△は益)	907	4,312
債務免除益	△3,990	—
開発中止損失	21,122	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△4
投資有価証券評価損益(△は益)	—	15,946
売上債権の増減額(△は増加)	197,070	△398,801
たな卸資産の増減額(△は増加)	△111,506	△132,001
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,857	71,330
その他	△44,041	△39,544
小計	26,599	△242,415
利息及び配当金の受取額	2,778	2,247
利息の支払額	△4,417	△3,303
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△14,564	6,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,395	△237,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,821	△3,331
有形固定資産の売却による収入	133	4
無形固定資産の取得による支出	△3,085	△1,260
投資有価証券の取得による支出	△40,421	△30,160
投資有価証券の売却による収入	4,700	15,162
その他	△1,977	△1,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,471	△20,766
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400	180,000
長期借入金の返済による支出	△51,004	△20,004
株式の発行による収入	2,100	385
配当金の支払額	△4,180	△4,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,484	156,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,779	△10,540
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△115,340	△112,591
現金及び現金同等物の期首残高	526,092	487,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	410,752	374,659

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ事業	モバイル事業	アミューズメント事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	634,910	15,147	21,728	24,196	695,983	—	695,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	634,910	15,147	21,728	24,196	695,983	—	695,983
セグメント利益又はセグメント損失(△)	102,900	5,622	△4,215	△2,077	102,229	(91,946)	10,283

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額91,946千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	オンライン事業	ライセンス事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	901,295	130,390	79,156	72,805	1,183,647	—	1,183,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	901,295	130,390	79,156	72,805	1,183,647	—	1,183,647
セグメント利益又はセグメント損失(△)	144,743	103,249	75,056	11,702	334,751	(112,167)	222,584

(注) 1. セグメント利益の調整額112,167千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、セグメント情報における事業区分につきましては、「コンシューマ事業」、「モバイル事業」、「アミューズメント事業」及び「その他事業」の4つの事業区分としておりましたが、第1四半期連結累計期間から、今後の成長戦略に則ったマネジメント・アプローチにより、報告セグメントの変更について検討した結果、「パッケージ事業」、「オンライン事業」、「ライセンス事業」及び「その他事業」の4つの事業区分に変更しております。

変更後の各報告セグメントの主要製品は次のとおりであります。

事業区分	主要製品
パッケージ事業	家庭用ゲームソフト、関連グッズ、物品販売
オンライン事業	家庭用ゲームソフトのダウンロード販売、携帯電話用コンテンツ、スマートフォン用コンテンツ、SNSサイト課金
ライセンス事業	著作権の使用許諾収入
その他事業	アミューズメント施設の運営、上記以外

なお、変更後の区分方法による前四半期連結累計期間の情報を算定することが困難なため、当第2四半期連結累計期間について、前連結会計年度の区分方法により算定した情報を開示しております。

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ事業	モバイル事業	アミューズメント事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,040,892	16,583	8,772	117,399	1,183,647	—	1,183,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,040,892	16,583	8,772	117,399	1,183,647	—	1,183,647
セグメント利益又はセグメント損失(△)	338,374	△5,278	△13,476	15,132	334,751	(112,167)	222,584

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額112,167千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。